

LINKAGE

[繋ぐ]

愛でる Special Issue:

豊かな自然との共生が 生み出す手漉き和紙。

広げる 天然和紙糸繊維の質感を生かした、先どる コピー用紙で立体を造形する
吉田カバンの新シリーズが発売。 「3Dフルカラープリンター」。

日本の豊かな自然が息づく伝承工芸

手漉き和紙

「和紙」は、日本の風土に適した原材料と製法により、独自の発展を遂げてきました。清らかな水に恵まれた地で繁栄し、人々の営みに寄り添いながら受け継がれてきた伝承工芸はいま、その良さをあらためて見直されつつあります。今回は、この国の豊かな自然を象徴する文化である「和紙」に魅了され、遠く海を渡り来日し、自らその伝承者となった手漉き和紙作家の言葉を通じて、その魅力を紐解いていきます。

愛でる P01

豊かな自然との共生が
生み出す手漉き和紙

TSUNAGU JOURNAL

世界的評価が高まる ... P06
「和紙」を学ぶ

伝える P07

テレビマン・大山勝美さんの
隠れたエピソード

出会う P09

闊達自在な活動を続ける
若手営業マンの流儀

広げる P11

天然和紙糸を使ったバッグの
気になる魅力とは？

先どる P13

コピー用紙で立体を造形する
「3Dフルカラープリンター」

深める P14

KPPの最新ニュースを
キャッチアップ

訪ねる P15

和紙づくりのすべてがわかる
「いの町紙の博物館」に注目

作る 付録

デスクの小物整理に最適
「マグカップ型ペンケース」

和紙づくりで大切なのは、人と自然の関わりを考えること。



手漉き和紙作家

ロギール・アウテンボーガルト さん

1955年、オランダ・ハーグ市生まれ。1枚の和紙との出会いをきっかけに、1980年来日。日本各地の手漉き和紙産地での修業の後、高知県に居を構え、紙の原料の栽培から和紙づくりまでの全工程を手がける。2006年には紙漉き体験ができる民宿「かみこや」をオープン。和紙やプロダクツの製造・創作のほか、ワークショップ、講演、執筆など、全国各地で幅広く活躍中。2007年に「土佐の匠」認定。高知工科大学客員教授。

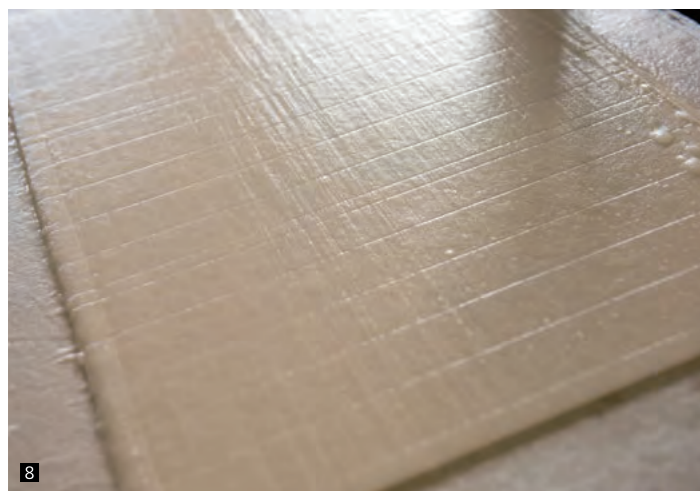
それを機に、日本の自然農法について記した英訳本などを読みあさったロギールさんは、すぐに来日を決意。「日本といえば、黒澤映画と発酵食品くらいしか知らなかった(笑)」という25才のオランダ人青年は、半年後にはシベリア鉄道に乗り、日本をめざすことになったそうです。

和紙の産地を巡る旅の末に高知での和紙づくりをスタート

ロギールさんが来日したのは、1980年秋のこと。当時は、日本語がまったくわからないにも関わらず、小さな情報を頼りに手漉き和紙の産地をまわりはじめました。「まずは、王子(東京)にある紙の博物館を経由して、細川和紙の埼玉県(比企郡)小川町へ。そこでは植物と水の関係を丁寧に教えてもらいましたね。それから、京都、兵庫、福井、鳥取、岐阜、高知、宮崎、沖縄などを半年かけてまわり、和紙づくりを見学させてもらいました」。

ロギールさんの旅の終着点となったのは、高知県の旧伊野町。「当時は外国人を見るのが初めてという人ばかりでした。役場の方が学校で英語を教えている先生を連れてきてくれて懸命に通訳してくれたり、とにかく歓迎してもらいました。紙産業技術センターでじっくりと研修を受けさせてくれたこと、楮や三椏など和紙の原料が豊富にあることを理由に、この地で和紙づくりをすることに決めました」。

現・高知県の町を中心とする地域は、越前(福井県)、美濃(岐阜県)と並ぶ、日本三大和紙産地のひとつ。その地で作られる土佐和紙は、清流・仁淀川のきれいな水、全国的にも評価の高い土佐楮などの良質な原料、紙業発展に数々の功績を残してきた高度な職人の技に支えられ、江戸時代から



⑤和紙の品質を決める“ちりとり”と呼ばれる工程。紙料に付着している黒皮などのチリ、変色してしまった部分などを冷たい流水の中で丹念に取り除く。⑥木製の棒で叩き、繊維をほぐす叩解(こうかい)と呼ばれる工程。道具もロギールさんの手づくり。⑦繊維に水とトロアオイの樹液を加えて混ぜ、紙を漉く。⑧漉いた和紙は天日に干し、乾燥させたら完成。



①背景に四国カルストを望む、標高650メートルの地に棚田が並ぶ。②日本最後の清流といわれる四万十川の源流。冬の冷たい流水にさらすことで、不純物を取り除く。③刈り取った三椏は、葛のツルを荷紐にしてまとめる。ビニール製のものより「括りやすく丈夫」だとか。④刈り取った原料の皮を剥ぎやすくするために蒸す大きな釜。燃料には薪を使用する。

オランダ人青年の人生を変えた1枚の和紙との出会い

高知空港から車で西へ2時間半。日本有数の清流・四万十川の源流に向かって山あいの道を進むと、昔懐かしい田園風景が広がる。2月上旬の澄んだ冷たい空気に小雪が舞うなか、高知県梲原町に辿り着きました。標高約1500メートルの雄大な四国カルストに抱かれた小さな町の「神在居の千枚田」と呼ばれる急傾斜地に、段状に耕された棚田と点在する集落、手付かずの自然が残る景色は、まさに日本の原風景ともいえるものです。

この地に居を構える手漉き和紙作家、ロギール・アウテンボーガルトさんは、和紙の原料となる楮や三椏を無農薬自家栽培し、収穫から和紙づくりまでのすべての工程を自ら行っています。機械や薬品を使わない、独自の信念と技法にこだわった和紙づくりを続け、素材としての和紙だけでなく、障子紙や襖紙、壁紙などに用いる創作和紙、和紙の柔らかい光の透過を生かした照明や表具といったペーパーアート作品を発表・提供するなど、作家としても精力的に活動されています。

ロギールさんが来日したのは、35年前のこと。生まれ育ったオランダ・ハーグ市にあるデザイン学校でグラフィック・デザインを学んだのち、昼間は製本工房で装丁の見習い、夜間は立体美術を学ぶアートスクールに通っていたそうです。そんなある日、製本工房にあった1枚の和紙と出会いが、その後の人生に大きな影響を与えることになりました。「当時の印象としては、とにかく不思議なものだなと。1本1本の長い繊維が見てわかるなど素材としての存在感があつて、その質感もそれまでに触れたどの紙とも違うものだと感じました」。

明治にかけてめざましい発展を遂げました。ロギールさんは、古くから紙づくりの豊かな文化が継承されてきた土地で、和紙づくりをスタートしたのです。

和紙づくりを学ぶために日本文化を学ぶ

いの町に定住することにしたロギールさんが最初に行ったのは、自らの手で田畑を耕し、楮を栽培すること。「来日当時、沖縄で琉球和紙を研究している方に弟子入りをお願いをしに行つて断られたのですが、その時に「どうしても(和紙づくりを)やりたいなら、原料を植えるところからはじめなさい」とアドバイスをもらって。でも、楮を栽培して収穫する期間を考えると、少なくとも1、2年はかかる。その間は旅の途中で出会った妻に支えてもらいながら自給自足の生活をして、日本人の生活、文化としての和紙を学んでいくことにしました」。

しかし、当時の生活は、楽しくてしかたがなかったとロギールさんは振り返ります。「例えば、オランダで観た日本映画のなかに登場した襖や障子。すぐに破れてしまふ紙を扉の材料にするなんて本当かなと思っていたけど(笑)、どの家でも使われていた。それに、提灯や傘、扇子など、普段の生活のなかに当たり前のようになっている紙が使われていて、人々の暮らしを支えている。人の営みと、歴史を深め文化を育ててきた紙の役割を知るうえで、とても重要な時間でした」。

楮の栽培をはじめから1年。自分で漉いた和紙を日曜市で売るなどして作品を販売。1989年には初めての個展を開催し、和紙だけでなく、和紙でつくったランプシェードや大きな団扇、オブジェなどが多くの人に認められ、高い評価を得たそうです。

レッツ
スタディー!

世界に誇る“クールジャパン”「和紙」を学ぶ

昨年11月にユネスコの無形文化遺産に登録され、あらためてその価値が見直されている「和紙」。世代を越えて受け継がれる伝統的な製法、品質の高さは独自のものであり、世界から高く評価されています。この快挙を期に、その魅力と特長をいま一度、学んでみませんか？



LESSON.1 3種類の「手漉き和紙」が NEWS 無形文化遺産に登録

昨年11月、手漉き和紙がユネスコの無形文化遺産に登録認定されました。登録が決まったのは、鳥根県の「石州半紙」、岐阜県の「本美濃紙」、埼玉県「細川紙」の3種類。石州半紙は2009年に遺産に登録済みでしたが、本美濃紙と細川紙を加える形で「和紙：日本の手漉き和紙技術」として文化庁が新たに拡張提案し、決議されました。ちなみに無形文化遺産は、芸能や社会的慣習など、形のないものが対象とされるため、登録されるのは紙そのものではなく、これらの和紙をつくる伝統の技術ということになります。

なぜこの3種類が選ばれた？
いずれも国産の楮(こうぞ)を原料にしていることに加え、伝統工芸の分野において、国の重要無形文化財として指定を受けていること。さらには、無形文化遺産の登録基準のひとつに、次世代への伝承があり、後継者の育成、地域の保存活動が高く評価され、推薦候補として選ばれたものとみられています。

LESSON.2 特長

薄くても、丈夫で長持ち。1,000年の保存も可能

和紙は長い植物繊維が絡み合っているため、丈夫で長持ち。湿らせると紙が伸び、乾燥させると縮むなど伸縮性に優れ、折りたたみを繰り返しても破れにくい柔らかさも特長です。さらには、繊維のすき間から光や空気が行き来するため透光性や通気性が良く、光・温度・湿度を調節する調度品として、広く利用されてきました。ちなみに、高知県でつくられる「土佐典具帖紙」は、その厚さ0.03mm。その薄さから「カゲロウの羽」とも呼ばれ、手漉き紙としては世界で一番薄い紙として美術品・文化財の修復にも使われています。

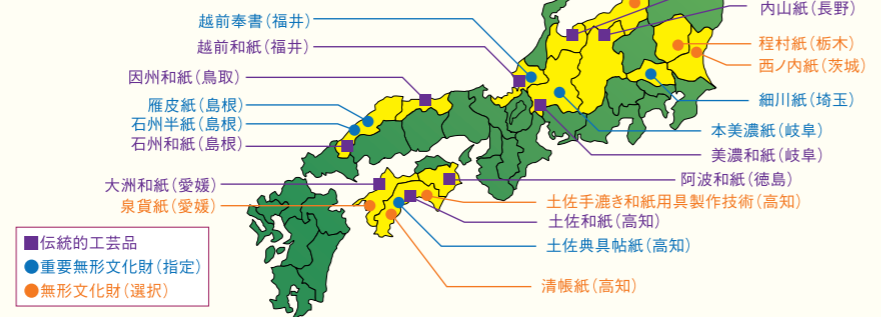
LESSON.3 和紙の誕生と普及に 歴史 貢献した「聖徳太子」

植物繊維からつくった紙としては、紀元前2世紀頃に今の中国でつくられた「麻紙」が最古といわれています。日本最古の正史「日本書紀」によると、610年に高麗の曇徴(どんちょう)という僧によって仏教とともに日本に伝来。当時、摂政であった聖徳太子が仏典を写経する紙として普及を奨励したことで和紙の需要が高まり、楮の栽培と紙漉きの技術が日本各地に広まりました。その後も製紙技術の改良が進み、平安時代には日本独自の手漉き技法が確立。今日に至る和紙文化が誕生しました。

※国産最古の和紙・製紙については、諸説あります。

LESSON.4 水のきれいな土地で発展。産地 今でも全国各地で生産される

和紙は全国各地で生産されています。ここでは紹介しきれないため、国の伝統的工芸品、重要無形文化財、無形文化財に登録されているもののみ、ご紹介します。



LESSON.5 古くから原料に使われる 「楮」・「三桠」・「雁皮」 原料

和紙の代表的な原料は、楮(こうぞ)、三桠(みつまた)、雁皮(がんび)の3種類。なかでも楮と三桠は比較的栽培がしやすく、さらに楮は繊維が長く長いので、幅広い用途に用いられています。かつて楮や三桠は中山間地域で広く栽培されていましたが、現在では国外からの輸入も普及しています。そのほか、竹や笹、麻、稲、麦、バナナなども原料として利用されますが、その多くは楮や三桠に混ぜて使われます。それら植物のどの部分を使うかによっても漉き上がった紙の特徴に違いが生まれます。



LESSON.6 建具から実用品まで 用途 幅広い分野に活用

和紙は古くから、人々の生活に欠かせない建具として活躍してきました。障子紙や襖紙などの調度品をはじめ、行灯や提灯、傘、奉書紙や書道用紙、扇子や団扇、紙幣、紙衣や紙布などの衣類にも使われています。和紙の活躍の場は縮小傾向にありますが、近年その強い耐久性と美しい風合いなどの独自性と価値が見直され、世界的に再評価されつつあります。



写真は、すべてP05で紹介した「かみこや」のもの

その後、1992年には現在の自宅がある榑原町へ移住し、紙漉き工房を開設。2006年には、工房を併設した紙漉き体験民宿「かみこや」をオープンしました。「こは、和紙について知りたいという人たちのニーズに応えるために開いたもの。それまでも紙漉きの体験は受け入れていましたが、ここはどこから来てもアクセスに時間がかかるので、2時間だけ紙を漉いて帰るのはもったいないな」と。それに、ある程度の時間を過ごし、この土地の環境を理解してもらったうえで和紙づくりをしないと、和紙の良さや本質がわからないと思うんです」。四国カルストから吹き降ろす澄んだ空気と、四万十川の源流のせせらぎが聞こえる里山の居心地の良さ、自家栽培の野菜を取り入れたオーガニックの食事が話題となり、日本はもとより外国からの宿泊客も後を絶えないとか。「スウェーデン、オランダ、アメリカ、カナダなど、欧米の方も多くいらつやいます。和紙漉き体験など慣れないことをやるせいか、みんな「良く眠れた」と言ってくれます(笑)」。客室に使われている襖や障子、壁紙などの建具も、すべてロギールさんの作品。和紙に囲まれて、晩過すなかで、日本の自然の豊かさと思ひ、日本人の営みに溶け込んだ和紙文化を肌で感じる事ができるのです。

自然からの恩恵を享受し 人の営みに生かす

ロギールさんの和紙づくりは、土佐和紙の伝統的な手法を忠実に守ること。そして、自分の手で「から育てた原料を使うこと」です。「原料を自分で植え、育てるところからはじめないと私の作品は表現できない。成長を自然からの恩恵を享受し、人の営みに生かす」



⑨⑩「かみこや」での宿泊は、1日1組限定。かみこや特製の和紙やインテリアが使われている客室で、心地よい時間を体感できる。⑪漉く工程でシダの葉を入れてつくったオリジナルの和紙。⑫故郷・オランダのコットンペーパーと和紙をミックスした「和蘭紙(わらんし)」。⑬「かみこや」のランプシェードと障子紙もロギールさんの作品。⑭カンボジアに紙漉き産業を興し、住民の働く場づくりに取り組む「NPO法人はちどりプロジェクト」のお2人。ロギールさんから学んだ和紙づくりの技術を現地に広めています。

紙漉き体験民宿「かみこや」

〒785-0603
高知県高岡郡榑原町太田戸1678
TEL 0889-68-0355
<http://kamikoya-washi.com>



分の目で確認し育てることで関係性が生まれ、それが作品づくりの素となっているんです。また、この地は原料の生産が盛んだので、林道に野生化している三桠がたくさん生えているんですけど、それを見た私が種をとって栽培しはじめることでこの地で数十年前に和紙づくりをしていた人々の暮らしを想像する。こうして新しい関係性が生まれるわけです」。その土地で歴史を深め文化を育んできた人々の営みと、水、気温、日当たりなどの自然環境との共生が、ロギールさんの創作のベースとなっているのです。

現在、和紙やプロダクトの製作、かみこやでの手漉き和紙指導のほか、ワークショップ、講演、執筆など、幅広く活躍されているロギールさん。「今後は、楮の種類についての研究、ヨーロッパでの文化財修復用紙の販売のほか、東京・銀座で原料を栽培する。銀座和紙プロジェクトにも力を入れていくつもりです。都会のビルの屋上に原料を植えることによつて、今まで地方との接点が多かった人々との間にも関わりが生まれます。この取り組みが和紙をはじめとする日本固有の文化を見直してもらおうきっかけになればうれしいですね」とロギールさん。実際に、KPP東京本社の上で行われている楮や三桠の栽培、それらを原料とした和紙づくりも、ロギールさんのサポートのもとで行われています。

伝統的な手法を継承してきた手漉き和紙職人が減り続けるなか、日本の自然を愛し、その技術を伝承しながら、新たな息吹をも吹き込み続ける青い目のサムライ。自然からの恩恵を生かす暮らしのなかにこそ、日本文化の本質が垣間見えるのです。



「手紙」は語る

植村鞆音

手書きの手紙は、人の個性を表す恰好のメディア。うつくしい文字や文章は、人のこころをうつつ魅力に溢れています。本エッセイは著者が受けとった手紙を通じて、人を、こころを、解きあかします。

第二回 大山勝美

草創期からやや遅れてテレビ放送に関わったわたしにとって、大山勝美さんはいわば雲の上の存在だった。わたしが斜陽化しつつあった映画に見切りをつけ、開局したばかりのテレビ局に職を転じたのは東京オリビックの開催された昭和三九年のことである。テレビの右も左も分からぬまま右往左往していた時期、大山さんはすでに民放初の大河ドラマ「真田幸村」(TBS)の演出家だった。「真田幸村」は、昭和四二年の十月新番組。当時制作費二話一千万円といわれていた。いまだ一億二千万円とかいうことになるのだろうか。主演は中村錦之介だったが、豪華キャストは並べ立てるだけで紙数がつきてしまう。脚本には松山善三、早坂暁、プロデューサーには久世光彦の名前もあった。

われわれの世代で、「岸辺のアルバム」「ふぞろいの林檎たち」を知らない人はいないだろう。いずれも、プロデューサー大山勝美、脚本山田太一、ふたりのコンビが生み出したテレビ史に残る名作である。まるで知らない若い人たちのために二言すれば、「岸辺のアルバム」は、昭和五二年の作品。見平和に見える家族の崩壊を描く連続ドラマ。四九年の多摩川水害の実写を効果的に使い、家族のアルバムが流出する象徴的なシーン。家を失つてようやく取り戻す家族の絆。それまで良妻賢

の評伝『直木三十五伝』、父の評伝『歴史の教師 植村清二』などを上梓したが、大山さんは東京会館で行われた二作の出版記念会に二度とも出席してください。たし、著作を献呈するたび律儀な感想をお寄せいただいた。退職した老人と若い女性の恋を描いたわたしの初の小説『夏の岬』への感想文。

「いやア庄倒される小説『夏の岬』ありがとうございました。私小説ではないと思いつつも、ついつい主人公が植村さんの分身のようで、まことに望ましい晩景を生きているのだと感服しました。優秀なプロデューサーはおだてるのもうまい。仕事で最後につき合ったのは「月刊民放」の鼎談シリーズだったが、病気を抱え

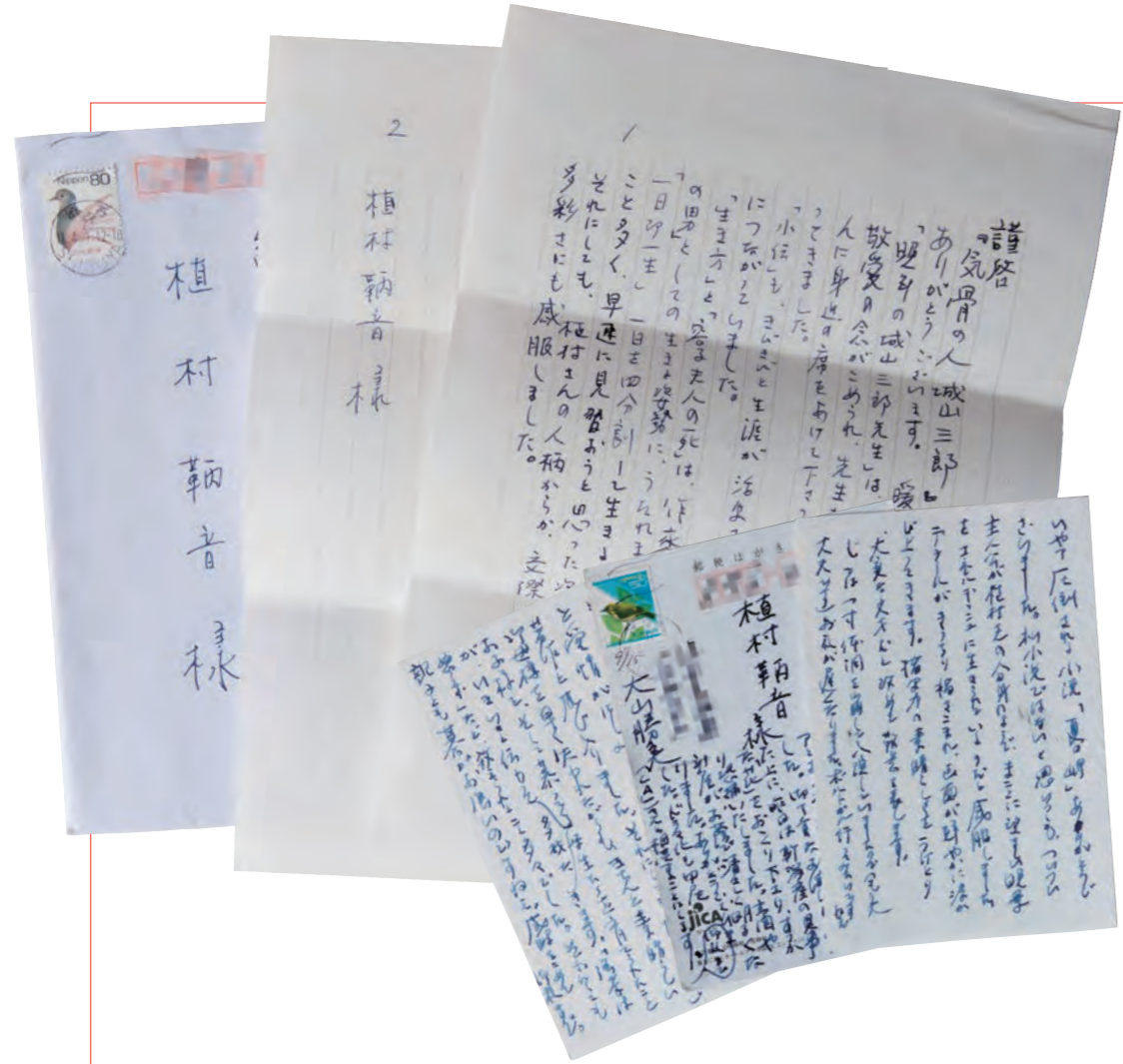
母を演じ続けた八千草薫を不倫する妻に配した意外性のあるキャストイングも功を奏した。今日を予感させる作品だったといつてもいい。

「ふぞろいの林檎たち」は初回シリーズの放映が昭和五八年。四流大学に通う学生たちの群像を等身大で描いたドラマである。好評で視聴率も高く、たしかシリーズは四回を重ねた。あの、サザンオールスターズの「いとしのエリー」をバックに、新宿の高層ビルを背景に投げ上げられた赤い林檎がモノクロに変わるオープニング。忘れられませぬ。

わたしが大山さんに直接会ったのは、平成五年のことである。当時東京の後発のテレビ局で編成を担当していたわたしは、他局ではめつたに実現することのない、明治以降の文藝名作をドラマ化することを思い立ち、久世光彦、恩地日出夫、深町幸男といった名うての演出家に声をかけた。大山さんもそのなかのひとり、演出していただいたのは漱石の「門」や「こころ」だった。あれはそれほど評判にはならなかったが、人間の心の光と影を描く大山勝美の本質にもっとも近いものだったかもしれない。

わたしは、テレビ局をリタイアした十年ほどまえ著述業を目指し、伯父大山さんは、この仕事があるうちは死ねないともらしておられた。最初レギュラーに予定したクリエイティブネクサスの藤井潔さんと大山さんとの間でかなり激しいやりとりがあり、藤井さんの出席は沙汰やみとなった。藤井さんが自身の傑作と信じる開高健さんの釣り番組(「悠々」として急げ)それは傑作に違いないのだが)をTBS出身の某氏が非難した。この鼎談でその意趣返しをしたと発言したときである。普段怒りを見せたことのない大山さんが、「そんな私的なことに鼎談を利用されたら困る」と声を荒げられた。記憶は定かでないが多分そんなことだった。

わたしは、大山さんほどテレビ番組を愛したテレビマンを多くは知らない。日中韓の番組交流に熱心で中韓の番組製作者は絶大な信頼を寄せていた。昨年番組の交流祭で日本側の出品作品のテーマでもめごとがあり、中韓の代表がフステイバルをホイコット寸前という緊迫した事態となったが、病身の大山さんの説得で辛うじて危機を免れた。亡くなる前、ご自分の主宰する放送人の会に数千万円の寄付をされたとも聞いた。亡くなったのが昨年十月初め、三か月経った二月九日如水会館で「お別れの会」が催されたが満員の盛況だった。やはり、生前どう生きたかが人間の評価を決めるのだと思う。



写真提供: 日本民間放送連盟

おおやま かつみ
大山 勝美

TVプロデューサー・演出家
1932-2014

鹿児島県出身。早大法学部を卒業後、1957年にラジオ東京(現TBS)に入社。TVプロデューサー・演出家としてドラマ畑一筋に歩み「ドラマのTBS」の全盛期を支えた。主な作品に民放初の大河ドラマ「真田幸村」、田宮二郎のTVドラマ初主演作「知らない同志」、山田太一原作・脚本の「岸辺のアルバム」、「想い出づくり」、「ふぞろいの林檎たち」など。



著者略歴

うえむら たかのり

植村鞆音 エッセイスト

小説家・直木三十五の甥、東洋史学者・植村清二の子として愛媛県松山市に生まれる。1962年早稲田大学第一文学部史学科卒業後、東映、テレビ東京に勤務。1994年同局常務取締役。1999年テレビ東京制作代表取締役社長。DACグループ顧問。一般社団法人STEP理事。2005年『直木三十五伝』で尾崎秀樹記念・大衆文学研究賞受賞、2007年『歴史の教師植村清二』で日本エッセイスト・クラブ賞受賞。主な著書に『夏の岬』『気骨の人 城山三郎』など。

吉田カバンの新シリーズ『PORTER DRAFT』
天然和紙糸を使ったバッグの気になる魅力とは？

YOSHIDA & COMPANY
PORTER
TOKYO・JAPAN

Natural Filament Fiber
OJO+

PORTER DRAFT

TOTE BAG
SHOULDER BAG
2WAY BOSTON BAG
RUCKSACK

環境に優しい
天然和紙糸繊維
Natural Filament Fiber
OJO+とは？

OJO+とは、南米エクアドル産の良質なマニラ麻を原料とする紙からできた糸。王子ファイバー(株)が、「紙から糸をつくる」日本の伝統技術をもとに、先端の設備や独自の新技術によって製品化したものです。その特性は、肌触りが爽やかで、麻や綿などと比べて非常に軽いこと。さらには毛羽がなく、吸水性、撥水性、耐洗濯性にも優れていることから、ファッション、インテリア、寝装寝具メーカーを中心に素材としての利用が進んでいます。またOJO+は、地球環境に優しい天然繊維としても注目を集めています。原料となるマニラ麻は生育が3年と早く、しかも農薬や肥料を一切必要としないため、オーガニックの認証を取得しています。また、生分解によって土に還り、燃焼しても有害物質が発生しないことから、環境負荷低減に貢献する素材として、熱い視線が注がれています。

お問い合わせ 王子ファイバー(株) <http://www.ojifiber.co.jp>

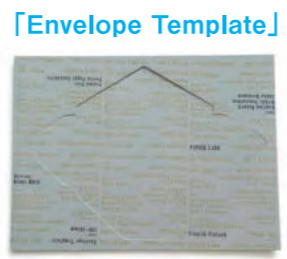
OJO+ができるまでの工程

- 1 栽培** マニラ麻は3年で高さは5~6m、太さは20cmまで生育
- 2 採集** 茎を根本から伐採し、葉鞘部分を裂いて繊維を取り出す
- 3 バルブ** 巨大な球体の釜を使ってマニラ麻を蒸解し、バルブをつくる
- 4 抄紙** バルブを抄紙機にかけて、糸の原紙となる紙をつくる
- 5 スリット** 和紙系原紙を1~4mmに細かく裁断し、テープ状に加工する
- 6 撚糸** スリットされたテープに撚りをかけ、和紙糸OJO+が完成

日本が世界に誇るバッグメーカー、吉田カバン。機能美に優れたシンプルなデザインと、細部にまでこだわり抜いた品質の高さから、長きにわたり多くのファンを魅了し続けています。今年創業80周年を迎えるメイド・イン・ジャパンのバイオニアがこの春発表した新シリーズが、『PORTER DRAFT(ポーター ドラフト)』。その特徴は、バッグの表生地「日本古来の素材である和紙からつくった糸を使用した」こと。タテ糸にナイロン糸、ヨコ糸に王子ファイバー(株)が開発した「OJO+(オージョ)」という和紙糸を用いたオリジナルの生地が採用されています。和紙の特性である軽さと、さらりとした手触りの心地良さ、異なる2種類の素材を織り込むことで生まれる光沢の違いやわずかな色ムラといった独特の風合いなど、スタンダードなスタイルのなかに秘めた個性を感じさせる逸品です。「でも、和紙を使ったバッグなんて大丈夫？」と思った方もご安心を。細長い紙の繊維自体が水に溶けることはなく、強いヨリをかけて縦横に織って布に仕上げているので、耐久性は抜群。表地、裏地ともに耐久性超撥水加工を施しているため、汚れにも強いそうです。ラインナップは、15アイテム各3色(フラック/ページジュ/ネイビー)。この春のニューアイテムとしていかがですか？

4月下旬より、吉田カバン直営店「KURA CHIKA YOSHIDA」、公式オンラインストアほか、全国主要百貨店、各小売店にて順次販売開始
吉田カバン公式HP <http://www.yoshidakaban.com>

TSUNAGU SELECTION ITEM



映画「ヤコブへの手紙」の上映に合わせて製作されたもので、監督やキャストの名前が活版で印刷されている。

言葉、思いを深める
手づくり「封筒プレート」

メールと手紙。どちらも思いを伝えるツールながら、メールは会話に近い気軽さとカジュアルさが特徴。それに対し、手紙はもうちょっと特別な意味があります。手書きの文字が送る手のパーソナリティを表わすので視覚的な印象も強く、言葉に込める思いが増すのかもしれない。そんな手紙にしたためたメッセージをさらに印象深いものにしてくれるのが、封筒を手づくりできるこのアイテム。捨てずにとっておいたお気に入りの包装紙やチラシなどの紙を、厚手のボール紙でできた定規に沿って切り抜き四隅を折り返すだけで、オリジナルの封筒が完成です。相手を思い浮かべながら封筒をつくれれば、手紙に綴った言葉は相手の胸により深く届くはず。



販売:PAPIER LABO.(パピエラボ)
東京都渋谷区千駄ヶ谷3-52-5-104
営業時間:12:00-19:00(月・火曜定休)
※店頭でのみ販売。

▶ 大阪支店を関西支店に、 名古屋支店を中部支店にそれぞれ改称

当社は4月1日より大阪支店を関西支店に、名古屋支店を中部支店に改称しました。また、京都支店を関西支店に統合しました。なお、それぞれの住所・電話番号に変更はございません。

■ 関西支店 (旧大阪支店)

〒541-0052 大阪市中央区安土町 1-8-6
TEL: (06) 6271-2291 FAX: (06) 6271-2292

□ 関西支店 京都営業部 (旧京都支店)

〒600-8008 京都市下京区四條通烏丸東入長刀鉾町8 京都三井ビル
TEL: (075) 252-2310 FAX: (075) 252-2350

■ 中部支店 (旧名古屋支店)

〒460-0003 名古屋市中区錦 1-11-20
TEL: (052) 201-6341 FAX: (052) 201-6358

▶ 展示会が 盛況のうちに終了

前号でご案内したとおり、東京本社では2件の展示会を開催し、盛況のうちに終了しました。

2月5日(木)～7日(土)に開催した第10回KPP文化展では、社員とその家族、OBによる、絵画、書道、手芸などの幅広い作品を展示。華道部による生け花展示などによって、会場は華やかに彩られました。また、2月12日(木)～13日(金)に開催した業務本部展示会では「紙と生活展」と題し、紙の新たな使用方法や製品を紹介。和紙がユネスコ無形文化遺産に登録されたことから、日本各地の特色ある和紙を展示し、来場者の興味を集めました。たくさんのご来場ありがとうございました。



当社が屋上庭園をオープンしたのは2010年5月のこと。当時から楮と三桧の木を植えてきましたが、これだけの量では和紙を漉くことは無理だろうと、はなから諦めていました。そんなときに、当社の屋上にいらしたロギールさんから「この材料だけでも和紙ができますよ」と言っていたとき、漉いていただきました。1年目にはKPP産の和紙は7枚。昨年はロギールさんからわけていただいた苗を追加したので、昨年とは違った表情の和紙ができるので楽しみです。(M・T)

さて、4月は年度初め。気分も一新し「春夏秋冬」季節を感じとりながら、仕事もプライベートもメリハリをつけ楽しく頑張ってみませんか!(J・S)

▶ シンガポール大永 ホーチミン事務所が移転

今年で開設5年目を迎えるホーチミン事務所が、下記のとおり移転しました。

■ シンガポール大永 ホーチミン事務所

■ DAIEI PAPERS (S) PTE LTD Ho Chi Minh Office

Room 10B6, Floor 10th, International Plaza,
343 Pham Ngu Lao Street,
Pham Ngu Lao Ward, District 1,
Hochiminh City, VIETNAM

TEL : 84 8 6291 5623

FAX : 84 8 6291 5622

E-Mail : hosoda@daiei.com.sg

▶ 子会社岡山紙商事 を設立

当社は下記の通り子会社を設立し、吸収分割により岡山紙業株式会社が営む紙類および紙製品、ならびに包装資材等の販売事業を承継することを決定いたしましたので、お知らせいたします。

新会社概要

商号	岡山紙商事株式会社
本店所在地	岡山県岡山市北区富田53-1
設立日	平成27年2月23日
事業承継日	平成27年4月4日

編集後記

TSUNAGU春号が発行される頃は、本社前の桜が満開になり、2階の窓越しから見る桜は、まるで屏風に描かれているようで、本当に綺麗です。毎年、濃い桜色や薄紅色など、花の色が微妙に変化し、楽しませてくれます。

道行く人は会社前でスマホ片手に写真を撮ったり、立ち止まって見上げてみたり、犬も桜の花びらで戯れてみたりと、それぞれが春を感じとっているようです。

ここまで来た! エコ&ローコスト 「コピー紙でつくれる」3Dプリンターに注目



——製作コストは従来素材の10～20分の1!

秋葉原に一般の人でも使えるラボができたり、ミニチュアの「自分フィギュア」が注目を集めたりと、じわじわと私たちの暮らしのなかに近づきはじめて3Dプリンター。これまでは主に産業分野で用いられ、建築物のミニチュアモデル、医療の現場での人体標本モデルなど、実際に試作品をつくるより遥かに安いコストでプロトタイプがつけられるため重宝されてきました。その素材といえば石膏やプラスチック樹脂、そして金属。しかし石膏は精緻な表現ができても壊れやすく、樹脂はカラーの再現性に乏しい。金属も同様うえに製造コストも決して安くはない。そこで注目を集めているのが、「どこにでもある一般的なコピー用紙で3Dがつくられてしまう」画期的な3Dプリンター『Mcor IRIS (エムコア アイリス)』。アイルランドのベンチャー企業、Mcor Technologies (エムコア・テクノロジー) 社が開発したこの3Dプリンターは従来素材のじつに10～20分の1のコストで、3Dモックアップがつけられるという。

——100万色以上のカラー再現性を持つ“エコロジー優等生”

CADや3Dソフト、あるいは3Dにスキャンしたデジタルデータをもとに、紙のわずかな厚さを計算して1枚ごとのレイヤーに分割、マシンに設置されたプリンターで表裏両面に印刷を重ねていく。ここでのポイントが、使用するインキ。「紙の断面にしっかり色が浸透していくので、紙白がどこにも出てこない」(株式会社メディアテクノロジー・ジャパン)のだそう。素材が紙なため100万色以上のフルカラー印刷が可能で、色表現の部分では他の素材とは一線を画するクオリティを確保。こうして印刷された紙を、1枚ずつ幾重にも重ねて接着～プレス～カットしていく。

接着に用いる糊も水性なため産業廃棄物の心配もないという、まさに“エコロジー優等生”。それでいてコーティング剤での処理により、木材と同程度の強度も有しているというから驚きだ。

——国土地理院のデータで「オリジナル3Dマップ」も

圧倒的なコストパフォーマンスが評価され、海外ではカーデザインのモデリングや歯科医療のモデル等に採用する企業も。国内では『クール・ジャパン』の旗頭であるアニメのキャラクターフィギュアのモックアップに活用されているほか、国土地理院がこの3Dプリンターにいち早く注目。2015年2月にMcor IRISを導入し、すでに公開されている日本各地を3次元で見ることができ『地理院地図3D』サイトのデータを用い、リアルな地形を反映した立体地図を手軽につくれる環境を整えている。紙ならではの低コストパフォーマンスで、防災・建築・都市計画等さまざまな打ち合わせシーンでの活躍が期待されているとか。

ちなみにこの国土地理院のデータは誰でも無料で閲覧・ダウンロードできるので、いろいろな立体地図を見たり、民間のサービスを使って3Dプリンターで出力、なんてことも可能になっている。このまま進めば、そのうち「3Dプリンターも一家に1台」なんて時代が来るのかも?

※データ利用については国土地理院のコンテンツ利用規約への同意が必要です

問い合わせ先

○株式会社メディアテクノロジー・ジャパン
Tel.03-5621-8267 <http://www.mtjn.co.jp/>
○国土交通省 国土地理院 Webサイト「地理院地図3D」
<http://cyberjapandata.gsi.go.jp/3d/index.html>

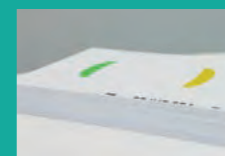
PROCESS モックアップができるまで



まずはインクジェットプリンターで1枚ずつ両面にカラープリント



印刷されたバーコードを読み取り、接着～プレス～カットしていく



すべてのプリントが接着されブロックに



カットされたラインに沿って紙を剥がしていくと...



リアルなカラー3Dモックアップが完成

いの町 紙の博物館

RECOMMENDED SPOT

土佐和紙の文化と魅力を見て触って体感できる

和紙の三大産地のひとつ、高知県のいの町。この仁淀川流域で発祥し、生まれた土佐和紙について、その文化と魅力を楽しく学べるのが「いの町紙の博物館」です。まずは、紙と和紙、土佐和紙の歴史に関する展示室へ。今日までの変遷について、パネルや模型をはじめ、土佐藩の武士が当時着ていた紙衣や藩札、和紙を貼り合わせた遊具など、当時の貴重な展示資料と併せて視覚的に学べます。また、現・いの町で生まれ、幕末から明治時代にかけて手漉き和紙の近代化に生涯を捧げた、紙聖・吉井源太翁の功績についても詳しく紹介されています。次の展示室では、土佐和紙づくりの一連の製造工程を紹介。原料の栽培・刈り入れから和紙の出荷までが、かつて実際に使用されていた希少な道具の展示とともに詳しく解説されています。そのほか、職人さんによる伝統的な紙漉きの実演見学や楽しい紙漉き体験、半紙や和紙、紙製品がそろったショップでの買い物など、土佐和紙の文化を存分に堪能できます。5/3～5には、数百匹の紙(不織布)のこいのぼりが清流・仁淀川を勇壮に泳ぐイベント「仁淀川紙のこいのぼり」も開催。GWの行楽先としてもおすすめです。

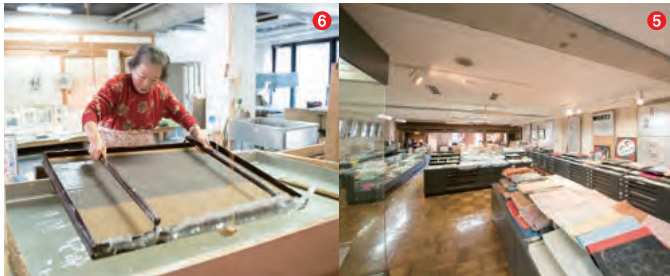
DATA



- 会場：高知県吾川郡いの町幸町110-1
- 入館料：大人500円、小人(小・中・高生)100円
※手漉き体験は別途400円(色紙2枚・はがき8枚付)
- 問い合わせ：いの町紙の博物館
- TEL：088-893-0886
- HP：http://kamihaku.com



- 1 貴重な歴史資料が並ぶ展示室
- 2 現存するなかでは、印刷年代が明確な世界最古の印刷物「百万塔陀羅尼経」
- 3 土佐藩士が実際に着ていた紙衣(かきこ)
- 4 「お気遣いいらしてください」と笑顔で話す別役(べつやく)館長



- 5 文具、実用品など品揃えが充実したショップ
- 6 職人さんによる熟練の技を間近で見学できる

5/31(日)

EVENT

東近江大凧まつり

DATA

日本一を誇る百畳敷き(タテ13m・ヨコ12m)の大凧が天空を舞う一大イベント。全国各地の伝統凧や郷土凧の競演、世界のユニークな凧の展示も見ものです。

- 会場：ふれあい運動公園(滋賀県東近江市栗見新田町地先)
- 見学料：無料
- 問い合わせ：東近江大凧まつり実行委員会事務局(東近江市役所観光物産課内)
- TEL：0748-24-1234
- HP：http://oodakomuseum.shiga-saku.net

5/3(日・祝)～5(火・祝)

EVENT

神と紙のまつり

DATA

紙祖神をまつる岡太神社と大瀧神社の例大祭にあわせて開催される、和紙にまつわる行事。紙能舞と紙神楽等の伝統芸能のほか、和紙の里通りでのさまざまな和紙の即売も楽しみのひとつ。

- 会場：岡太神社、大瀧神社、和紙の里通り(福井県越前市五箇地区)
- 見学料：無料
- 問い合わせ：福井県和紙工業協同組合
- TEL：0778-43-0875
- HP：http://www.washi.jp

※開館日、開館時間等は、各ホームページにてご確認ください。 ※イベント、展示は、諸事情により変更される場合があります。おでかけの際は、事前にホームページまたはお電話にてご確認ください。



輸送マイルージとCO2排出を抑え、地球温暖化に配慮したライシインキを使用しています。



針金・糊・熱が不要な製本方法を採用し、リサイクルや怪我の危険へ配慮しています。



国際紙パルプ商事株式会社
KOKUSAI PULP&PAPER CO.,LTD.

発行：経営企画本部 経営企画部 CSR・広報課
〒104-0044 東京都中央区明石町6番24号
TEL (03) 3542-4111 (代)

URL <http://www.kppc.co.jp/>

作る

紙と触れ合い、モノを作る

「PAPERCRAFT on the DESK」

リバーシブル

つくり方はウラ面をご参照ください。▶

春色ストライプ柄「マグカップ型ペンケース」

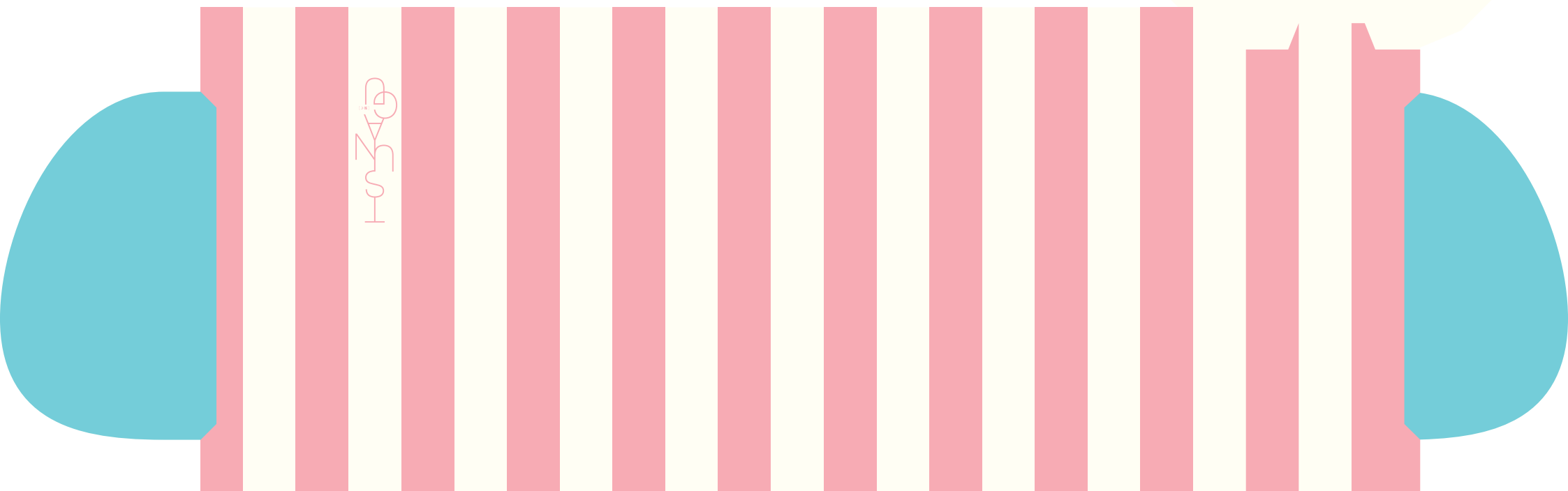
春を迎え心機一転。気分だけでなく、デスクまわりの装いもキレイに一新したい。

そんなあなたに使ってほしいのが、この「マグカップ型ペンケース」です。

リバーシブル仕様のカラーは、ピンクとブルーの2色。

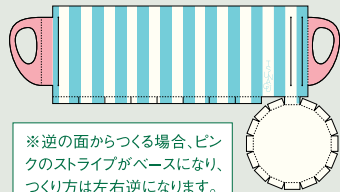
春の爽やかさを演出するストライプ柄のアイテムを使って

あなたのデスクを素敵にコーディネートしてみてくださいね。



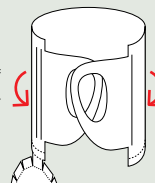
作り方

1 ウラ面の切りとり線に沿って切りとります。その際、カッターの背を使って折リスジをつけておくと、キレイに折ることができます。

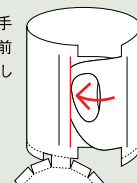


※逆の面からつくる場合、ピンクのストライプがベースになり、つくり方は左右逆になります。

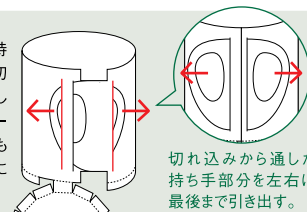
2 図のように円柱状に丸めます。その際、右側の持ち手部分が上になるようにします。



3 右側の持ち手部分の先を、手前の切れ込みに差し込みます。

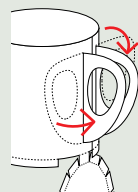


4 3で差し込んだ持ち手部分を奥の切れ込みから外に出します。同時に、もう一方の持ち手部分も右側の切れ込みに通します。

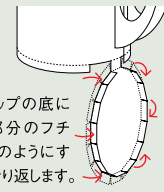


切れ込みから通した持ち手部分を左右に最後まで引き出す。

5 引き出した持ち手部分を図のように折り返します。



6 カップの底になる部分のフチを、図のようにすべて折り返します。



7 フチを折った底の部分をカップの中に折り込みます。



8 カップ下の切れ込みを、底部分を包むように内側に折り返します。



完成!

「作る」vol.23 使用紙：ジャンダルコート（菊判：125kg / 中越パルプ工業株式会社）明るく温かみのある白さと平滑性に優れた再生ダルコート。中性紙ですので長期保存、耐久性に優れています。

切りとり線 —————

折線 - - - - -

